“経営に知恵と革新”

令和２年７月１日発行（隔月発行）Vol.753号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2020年７月・８月号

新役員一同

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

新型コロナウイルスに罹患されました皆様、
および関係者の皆様に
謹んでお見舞い申し上げます。

会員皆様の益々のご健勝
ご活躍を祈念申し上げます。

令和2年 盛夏

一般社団法人 日本経営士会
会　長　鈴木 和男
役　員　一　同

朝顔

INDEX

第66回定時社員総会報告 ・・・・・・・・2

役員就任挨拶 ・・・・・・・・4

事業部・委員会活動

　SDGs委員会 ・・・・・・・・8

　MPP委員会 ・・・・・・・・10

　CSR環境事業部 ・・・・・・・・12

女性経営士の会 NJK活動報告 ・・・・・・・・13

研究会通信　生産研究会 ・・・・・・・・14

「会員の輪」会員紹介 ・・・・・・・・16

会員広場 ・・・・・・・・17

支部活動報告

　南関東支部 ・・・・・・・・18

　中部支部 ・・・・・・・・19

2020年度上期開催行事・講座のご案内／支部活動予定 ・・・・・・・・20

広告／インフォメーション ・・・・・・・・21

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）

発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F

Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831

https://nihonkeieishikai.com

表紙：第66回定時社員総会

Copyright©2020 AMCJ. All Right Reserved. Design:Kenichi Aoki & ZENT Inc.

第66回定時社員総会報告

第66回定時社員総会が6月26日（金）、JR四ツ谷駅前のスクワール麹町3階華の間にて開催されました。新型コロナの影響を考え、テーブル1名掛けのソーシャルディスタンスを行い、初めての試みとしてWeb対応のZOOM配信をしました。

また開催に先だち、令和元年度に故人になられた6名に黙祷が捧げられました。

開催日時　：　令和2年6月26日（金）　15：30 ～ 17：39

開催場所　：　スクワール麹町　3階　華の間（ZOOM配信あり）
東京都千代田区麹町6－6　電話 03－3234－8739

出席理事　：　青木幸江会長（ZOOM出席）、佐藤光子副会長（ZOOM出席）、加藤健二副会長、近藤安弘専務理事、津田嵩業務執行理事、藤本賢司業務執行理事（ZOOM出席）、鈴木和男ブロック理事

出席監事　：　石井政夫監事、石黒不二夫監事

社員総数と出席者数　：　社員総数　749名（過半数：375名）
出席社員数　402名（内訳）　本人出席数　29名
委任状提出者数　218名
書面議決権行使者数　155名

議長及び議事録署名人の選任について

加藤副会長の司会により、青木会長の挨拶のあと、定款第17条に基づき、青木会長が議長となり開会を宣言した。

また、定款第22条第2項の規定により議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、出席者は異議なく賛成し、議事録署名人として東京支部戸田裕之社員と南関東支部佐藤富夫社員が指名され、両人もこれを承諾し選任された。

議案決議の結果（第一号～第六号）

第一号議案　令和元年度事業報告に関する件

第二号議案　令和元年度決算承認の件
令和元年度監査報告

青木議長指名で、第一号議案の報告事項は加藤副会長、第二号議案の決算承認の件は佐藤副会長に、監査報告は石井監事が議案書に沿って説明をした。

審議の結果、青木会長が第二号議案の承認を求めたところ、決算報告の一部に注記を加えること、監査報告書に特記事項の明記を検討することを条件に賛成多数で可決された。

第三号議案　役員選任の件

青木議長が決議にあたり、候補者ごとに採決をとった結果、候補者全員が賛成多数で承認可決された。

（理事候補9名）

佐藤光子氏、児玉充晴氏、鈴木和男氏、近藤安弘氏、鈴木祥浩氏、川西健雄氏、
松橋裕子氏、大蔵充夫氏、酒井三雄氏

（監事候補2名）

石井政夫氏、廣瀬典仁氏

第四号議案　定款一部変更の件

青木議長より、本議案は定款第20条2項の規定により、出席社員総数が3分の2に満たなかったため廃案になった旨の報告があった。

第五号議案　令和2年度事業計画に関する件

第六号議案　令和2年度収支予算に関する件

青木議長の指名により、両議案とも佐藤副理事が議案書に基づき報告した。

以上を以って議事が終了したので、議長は閉会を宣言した。

総会終了後、臨時理事会が開催され、以下の通り本部役員の役職が決定しました。

会長（代表理事）：鈴木和男
副会長（代表理事）：鈴木祥浩、専務理事：近藤安弘
業務執行理事：佐藤光子、児玉充晴、川西健雄
東日本ブロック理事：松橋裕子、中日本ブロック理事：大蔵充夫
西日本ブロック理事：酒井三雄
監事：石井政夫、廣瀬典仁

（敬称略）

（初めてZOOMシステムを使用）

（3密を回避した総会会場）

役員就任挨拶

会長(代表理事)挨拶

会長　鈴木 和男

この度、当会の会長(代表理事)に就任させていただきました鈴木和男でございます。新型コロナウイルスCOVID-19に罹患された皆さま、及び関係者の皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

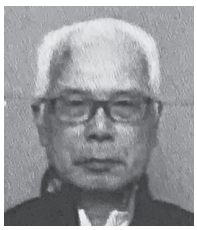
現在もコロナ禍で社会・経済もまだまだ混乱と不安な状況が続いています。しかし、Afterコロナに向かい、テイクアウト、デリバリー、インターネット教育、テレワーク、Web総会、オンライン診断、リモート治療などの新しい風が吹いてきています。今後も、様々な分野で新しい技術や考え、行動様式などの新しい風が、それも従来なかったスピードで吹いてくるかと思います。このように社会環境変化が激しく、先行きの見えないVUCA(Volatility：激動・Uncertainty：不確実・Complexity：複雑・Ambiguity：曖昧)な時代に突入しているとも言えます。そして生活様式も「ニューノーマル(新常態)」という言葉も生まれています。このように大きな社会経済変革が起きています。企業組織は、株主、お客様、パートナー企業、従業員やその家族、そして環境も含めた社会全体という全てのステークホルダーに貢献しながら、成長し続けるビジネスモデルを構築する必要がますます求められてきています。そのためには、「デジタルシフト」と「マインドシフト」を実践し、自ら「変化を起こしていく」こと。そしてその変化を陣頭指揮するのは経営者です。そして前例の踏襲から脱却し変革を牽引していく次世代幹部・リーダーへの期待・重要性が増しています。それらを支援するのが我々、経営士会であり、経営士だと思います。

このように経営士が果たす役割は、新常態において、より一層大きくなっていると感じています。今こそ私たちの英知とスピード感のある行動が必要です。そのために新しい執行部は、会員の皆さまの「個の力」と「連携・連帯の力」の増強のために従前の仕組みや考え、行動を大幅に変革してまいりたいと思っております。具体的には、①日頃から連携して考える・行動できる場を作る。②知恵と経験を結集し、他のコンサル業や士業ではできない支援メニューを確立する。③中堅・中小零細企業そして地域社会へタイムリーに情報発信できる体制・システムの構築。④他団体・組織との積極的な連携／協働による総合・統合力の強化などです。

皆さまと一緒に、経済と社会のイノベーターとなって改革を推進し、全てのステークホルダーと共に明るくサステナブルな未来を作っていきたいと考えています。

皆さまのなお一層のご協力とご支援をお願い致します。

日本経営士会理事に就任して



副会長　鈴木 祥浩

初めまして、今度の理事改選により副会長に就任致しました近畿支部の鈴木祥浩と申します。皆様のご支援を賜り、特に近畿支部のメンバー皆様には大変なご苦労をいただき、この誌を借りてお礼申し上げます。

さて、我が日本経営士会は来年には創立70年を迎える歴史ある経営コンサルタント集団であります。かつては多くの会員を有していた経営士会ですが現在、会員数は残念ながら減少しております。10年20年と時代が大きく変化している中、その変化に対応できず今に至ったものと推察されます。

我々の能力、プロとしての力量ははたして・・・・基本を振り返ってみますと

①知的能力（企業経営に必要とされる専門的知識及び応用能力）②指導能力（経営者に対する相談・指導・説得に必要な能力）③創造力（現状把握と同時に改善案提案力、新規事業に対する企画立案の能力）④資質（専門家としての具備すべき性格・特質）と提言されているのです。（50年誌より）

それらに加えて現在でICT・技術・能力が最も必要となっていると思われるのです。

時代は大きく変化し、仕事・職業にいたってはフリーランスといわれる人達が462万人もおられることから考えれば、我々の職業はフリーランスに最適な職業だと考えます。

その為にはビジネスパーソンは大事な人財であり特に中小企業の中堅社員をどうしても引き入れてと考えています。

今回の新型コロナウイルス感染に伴うピンチをチャンスに変えるのが我々の力量が試される大きなチャンスであると考えています。又地方創生といわれている昨今、経営士会ももっと地方にも力を注ぐべく努力が必要であろうと考えます。

これには、全会員お一人、おひとりの責任のあるご協力が必要となりますので、宜しくご協力とともにご支援をいただきたくお願い申し上げます。

役員就任挨拶

専務理事　近藤 安弘

引き続き、専務理事に就任しました近藤安弘です。

日本経営士会は、公益目的支出計画を終了し、一般社団法人として新たな第一歩を踏み出すことになりました。

本年度の重点取り組みとして「会員の増強」「会員の活躍の場づくり」を創出するとともにコロナ後の社会貢献をすべく「経営支援」に繋がる活動を展開してゆきます。

1. 会員の増強活動
   (1)経営士・経営士補養成講座の開催
   (2)環境経営士養成講座はネット会議システム（ZOOM等）の使用も併用し開催
   (3)産業能率大学との連携による会員増強
2. 会員の活躍の場づくり
   (1)「働き方改革事業」（都道府県）・「生産性向上支援訓練」（ポリテクセンター）の受託を通しての活動支援
   (2)CSR・SDGs活動支援
   (3)外部連携事業を通じた活動支援
3. 経営支援・共益事業の推進
   (1)新型コロナウイルス関連の支援策を積極的に推進
   (2)「コンサルタント起業塾」の継続的開催
   (3)共益事業としてNJKセミナー他、各種セミナー事業の推進

等の活動を推進してゆきます。

今後、日本経営士会では総力を挙げて力を結集し取り組んで参りたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いします。

ご挨拶

業務執行理事　佐藤 光子

このたび、業務執行理事として就任いたしました東北支部の佐藤光子です。

本会は創立以来70年間プロフェッショナル人材の育成を通じて、産業社会の発展に寄与してきましたが、経済環境の変化に立ち遅れ、また社会構造の変化から会員数はピーク時より減少しています。また更にコロナ感染症による現状を踏まえ、対面のコンサルティングからWEB上でのコンサルティングへと工夫が迫られています。

私は、一番の会の源泉は全国の支部の活動力であると思っています。その為には、本部はもちろん、支部も含めた情報の共有が必要であり、夢のある、前に進む会を目指したいと思います。会の存続のため、改革に果敢に挑戦し、スピーディな判断で会員一丸となり知恵を絞りたいと考えます。

会の伝統を守り、斬新さを実行し、両輪のごとく進んでいくことを願います。

業務執行理事就任に当たってのごあいさつ

業務執行理事　児玉 充晴

過日就任いたしまして、主に人材育成事業と資格審査関係を担当するように新会長から拝命しております。このことから、以下の4つの主な取り組みについて、微力ではありますが、みなさまのご協力のもと、取り組んでゆく方針です。

1　研修や講義などの実施が会員の活躍につながるよう、受講メリットを明確化した人材育成事業を目指します。

　また、クライアントの承認のもとでの実務参加の即戦力型OJT講座の実現に取り組みます。

2　受講者の募集力が本事業の根幹であることから、広報力の向上を目指します。具体的には、受講者募集のクラウドサービスの活用を図るとともに、テンプレート型ホームページの自前での作成と維持体制の構築を目指します。広報委員会と連携して、各種研究会や講座の一式でのまとめと、個々の開催案内等を行うとともに、他資格との違いの明確化、年会費5万円に見合う入会メリットの整理を行い、新規会員募集に向けた外部発信を行います。

　さらに、支部などの取り組みへの広報支援も行います。

3　会員拡大のための経営士(補)養成講座について、Zoomハイブリッドでの開講も含めて高度化検討を行い、受講者募集に力を入れます。また、この講座に基づく資格を定義する教本検討などにより資格審査基準の明確化を図ります。

4　有志交流会(仮称)のような、Zoomハイブリッドで会員が交流できる仕組みを構築し、支部を超えた、全国的な経営士会の活性化に取り組みます。

これらにつきまして、会員のみなさまからのご提言やご協力をいただければ幸いです。

業務執行理事としての抱負

業務執行理事　川西 健雄

令和2年6月26日の総会において業務執行理事となりました四国支部香川県会の川西健雄と申します。

昭和44年生まれの50歳。経営士としてはまだまだ若輩者ではありますが、地元の香川県を中心に20年間、ITの専門家として商工会議所や中小企業基盤整備機構等のアドバイザー等の活動を行ってきました。また商工会議所青年部の会長を2年間させていただいたことで、全国の若手経営者とネットワークを持つことができました。

そんな私がこの度、業務執行理事に立候補し諸先輩方のお力添えもいただいた事で当選することができました。本当にありがとうございました。

選挙の立候補届出書にも書かせていただきましたが、私が立候補した目的は

【情報化に強い経営士会を目指します】
・他団体との共同事業を通じて情報化の推進
・会員数を増やすためのIT活用を推進
・サイトやSNSを使って経営士会の知名度アップ
・テレビ会議システムを利用することで遠隔地からでも参加しやすい環境作り
伝統を守りつつ、常に新しいことにチャレンジ致します。

となります。今まで以上に「経営士」であることが誇りであり、憧れである存在となるために、ITを駆使し情報を発信することで、新しい仲間づくりの一翼を担えたらと思っています。また、経営士同士の新しいコミュニケーションツールとしてもITを活用していきます。

これ以外にも他団体や大学等との連携にも力を入れていきたいと考えておりますので、これからもよろしくお願い致します。

令和２年度・３年度役員

会　長（代表理事）	鈴木　和男（東京支部）	東日本ブロック理事	松橋　裕子（北関東支部）
副会長（代表理事）	鈴木　祥浩（近畿支部）	中日本ブロック理事	大蔵　充夫（東京支部）
専務理事	近藤　安弘（南関東支部）	西日本ブロック理事	酒井　三雄（近畿支部）
業務執行理事	佐藤　光子（東北支部）	監　事	石井　政夫（東京支部）
業務執行理事	児玉　充晴（千葉支部）	監　事	廣瀬　典仁（南関東支部）
業務執行理事	川西　健雄（四国支部）		

（敬称略）

令和２年度・３年度支部長

北海道支部	溝渕　新蔵	中部支部	梅本　泰則
東北支部	山下　健二	近畿支部	酒井　三雄
北関東支部	菜山　一宏	中国支部	金廣　利三
千葉支部	山田　　一	四国支部	岩井美喜夫
埼玉支部	柴田　郁夫	九州支部	西尾　廣幸
東京支部	大蔵　充夫	台湾特別支部	蔡　　有義
南関東支部	本田　哲行		

（敬称略）

事業部・委員会活動

SDGs委員会からの報告

SDGs委員会

SDGs委員会の目指すところが、いまいち不明だという会員の声がありますのでSDGs委員会の設立目的、今年度の活動計画と日本経営士会会員の参加のお願いについてご報告します。

■SDGs委員会の設立目的

企業、団体、自治体などへ本会会員がSDGs支援ビジネスを展開できるように、当委員会と各支部が連携しSDGs関連情報・ノウハウの構築とその提供を行う。その結果、本会のSDGs支援力の知名度向上を目指す。

①組織としてのSDGs支援力構築のため、各支部にSDGs研究会を設立し、支部内会員へのSDGs啓発と顧客への支援力向上そして、本部及び支部間の連携により本会全体の力をつける。

②「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の窓口機能・分科会の新設提案と本会全国規模で取り組みを行い、地方の課題解決などに貢献する。官民連携により一地方創生の推進を図る。（2019年9月理事会にて鈴木理事（当時）の提案より）

■SDGs委員会の今年度活動計画

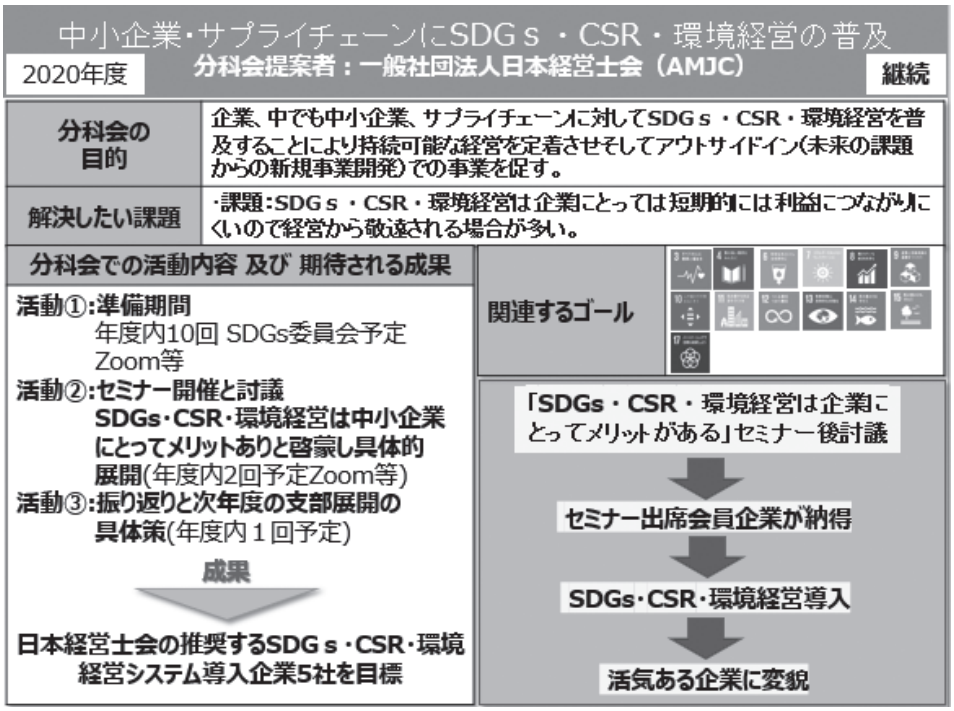
一般社団法人日本経営士会SDGs委員会は昨年に引き続き「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の会員の継続と2つの分科会を実施してまいります。

既に内閣府に当会の活動計画を提出済みです。

昨年度は全国で35の分科会を内閣府が採択をしました。このうちの2つの分科会は、日本経営士会の提案です。

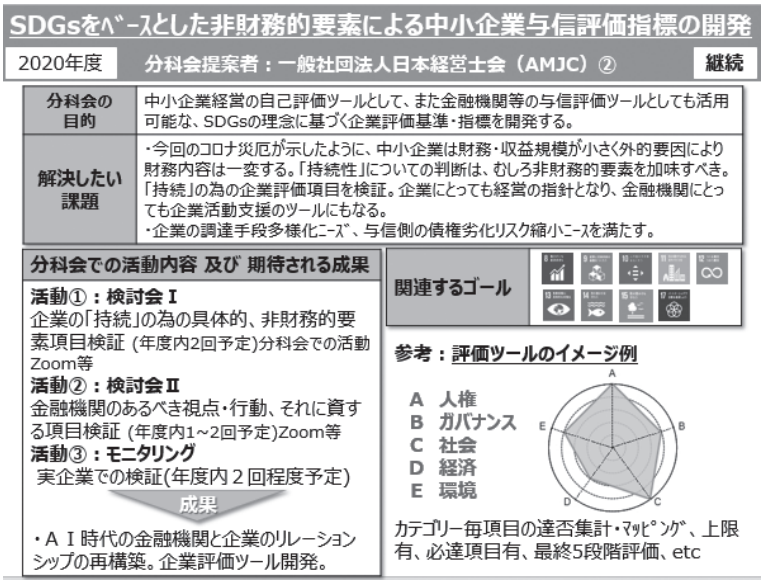
◇一つ目の分科会の概要については

「中小企業・サプライチェンにSDGs　CSR　環境経営の普及により地方創生に参加しよう」のテーマですが概要は下図の通りです。



◇二つ目の分科会の概要については

「SDGsをベースにした非財務的要素による中小企業与信指標の開発」のテーマですが概要は下図の通りです。



これらの図は概要ですが、詳細計画は「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の主管する内閣府に提出済みです。

これら2つの分科会はそれぞれ年度内で2回程度はZoomにて実施予定です。

概要は　http://future-city.go.jp/platform/　に掲載されています。このホームページの管理は内閣府地方創生推進事務局で運営事務局は、株式会社博報堂が運営しています。

◇日本政府のSDGs政策には女性の活躍社会が

日本経営士会においてはNJKがあります。今年度は地方創生SDGsに女性がどのように参画するか、分科会を設置予定です。

なお、具体的な提案がございましたら、SDGs委員会にお伝えください。

■Zoom委員会参加のお願い

SDGs委員会の設立目的にもある様に各支部にてSDGsを活用して地方創生推進をお願いします。各支部長は既にSDGs委員として毎月行われるSDGs委員会に出席をお願いしています。同時に委員会の傍聴などご希望の方は、メールアドレスをSDGs委員長宛てに送付いただければSDGs委員会の日時とURL(インターネットアドレス)をお送りします。

このURLを開催日時にクリックすればSDGs委員会に入室できます。

◇地方創生SDGs研修会開催

この7月から地方創生SDGsについての基礎研修会(基礎コース)を数回に渡って発信(Zoom講座)をします。

『カリキュラムの内容』

◎ SDGsと日本の政策　AMCJの取り組み
◎ プラットフォームを成功させるには
◎ 地方創生に欠かせない新規事業開発
◎ 6次産業化・観光事業等
◎ AMCJ提案の2つの分科会の内容

※上記の順番は必ずしも開催順番ではありません。

◇日本経営士会会員で既にSDGsに取り組んでいる事例をお知らせください

各支部で既にSDGsに取り組んでいる会員(経営士,経営士補,環境経営士)がおられればSDGs委員会まで内容お知らせ頂ければ事例として会員へ伝えます。

SDGs委員長のメールアドレス：honda@dragon.interq.or.jp

(SDGs委員会　本田 哲行)

事業部・委員会活動

令和1年度ポイント取得と保有のご報告

MPP委員会

「MPP登録リーダー」資格取得

チーム討議の進行役である「MPP登録リーダー」になるには、MPP保有ポイントが20単位以上でリーダー研修受講後、MPP委員会の確認により登録されます。現在、MPP登録リーダーは台湾支部も含め101名です。今後、新規に「MPP登録リーダー」の資格取得を希望される場合は、支部長かMPPの担当者にご連絡下さい。

「MPP登録リーダー」更新

MPP登録リーダーは、5年毎にスキル向上・維持のため更新が必要です。今年度中、更新が必要な方は台湾を含め17名です。該当される方は是非更新研修を受講して下さい。

■ 令和1年度MPP取得単位一覧表〈5単位以上〉

会員番号	氏　名	支　部	県　会	取得単位
2680	日野　隆生	東　京	—	56
4544	近藤　安弘	南関東	山　梨	20
4994	一瀬　良之	南関東	山　梨	20
4869	臼倉　恵美子	埼　玉	—	18
4997	松永　桂子	南関東	山　梨	15
4984	萩原　玄	埼　玉	—	13
3584	鈴木　健	南関東	神奈川	13
5398	桔梗　美紀	東　北	宮　城	12
4760	島影　教子	東　京	—	12
3053	李　孟熹	台湾特別	台　湾	12
3343	邱　炳輝	台湾特別	台　湾	12
4334	謝　明堂	台湾特別	台　湾	12
4516	陳　信安	台湾特別	台　湾	12
4802	邱　黎燦	台湾特別	台　湾	12
4804	陳　木梓	台湾特別	台　湾	12
4905	陳　益世	台湾特別	台　湾	12
4458	小西　洋三	埼　玉	—	11
3970	塚本　裕宥	北関東	茨　城	11
5117	陳　俊硯	台湾特別	台　湾	11
5116	荘　翔斌	台湾特別	台　湾	11
2358	佐藤　光子	東　北	山　形	10
2022	磯部　正美	北関東	新　潟	10
5425	安島　常貴	東　京	—	10
5199	三品　富義	中　部	愛　知	10
3176	桒山　一宏	北関東	新　潟	9
834	髙橋　栄一	南関東	神奈川	9
5221	蔡　有義	台湾特別	台　湾	9
5443	何　鴻鈞	台湾特別	台　湾	9
4890	西山　茂	北関東	新　潟	8
4909	中杉　保雄	埼　玉	—	8
5362	坂本　充	東　京	—	8
4733	廣瀬　典仁	南関東	山　梨	8
4595	黄　世欽	台湾特別	台　湾	8
3686	鈴木　勇	北関東	茨　城	7
2041	渡辺　良男	北関東	新　潟	7
2042	木村　泰博	北関東	新　潟	7
5433	粉川　雅人	北関東	新　潟	7
4013	豊田　賢治	埼　玉	—	7
4784	土橋　留美子	東　京	—	7
4096	阿部　幸男	南関東	神奈川	7
4732	輿水　博	南関東	山　梨	7
5179	北原　雅人	近　畿	大　阪	7
2972	張　銘江	台湾特別	台　湾	7
5523	呉　聰毅	台湾特別	台　湾	7
2367	茂木　達男	東　北	山　形	6
3673	岡崎　充男	東　北	山　形	6
3966	庄司　芳昭	東　北	宮　城	6
5434	鈴木　裕之	北関東	新　潟	6
2256	小林　敏雄	埼　玉	—	6
4755	佐藤　信枝	埼　玉	—	6
5407	大宮　政男	東　京	—	6
5002	津田　嵩	南関東	神奈川	6
5455	鍋田　悟	南関東	山　梨	6
5061	江　致平	台湾特別	台　湾	6
4624	臼井　邦夫	北関東	栃　木	5
2719	林　久雄	千　葉	—	5
4177	横井　三郎	東　京	—	5
5162	渡邉　敏徳	南関東	山　梨	5
5336	廣瀬　朗	南関東	山　梨	5
5347	梅本　泰則	中　部	愛　知	5
5486	高田　和郎	中　部	愛　知	5

（敬称略）　（令和２年３月31日現在）

■MPP高単位 保有者一覧〈通算50単位以上〉

会員番号	氏　名	支　部	県　会	令和1年度迄の累計
2680	日野 隆生	東　京	—	446
3053	李　孟熹	台湾特別	台　湾	388
4096	阿部 幸男	南関東	神奈川	382
3970	塚本 裕宥	北関東	茨　城	381
4418	河上　晃	近　畿	大　阪	313
4544	近藤 安弘	南関東	山　梨	282
3584	鈴木　健	南関東	神奈川	277
2972	張　銘江	台湾特別	台　湾	261
209	平山 道雄	東　京	—	241
4702	瀬尾 寿一	近　畿	京　都	200
3343	邱　炳輝	台湾特別	台　湾	198
4334	謝　明堂	台湾特別	台　湾	191
2022	磯部 正美	北関東	新　潟	179
4516	陳　信安	台湾特別	台　湾	170
4595	黄　世欽	台湾特別	台　湾	167
4827	林　漢郷	台湾特別	台　湾	158
3686	鈴木　勇	北関東	茨　城	152
4802	邱　黎燦	台湾特別	台　湾	147
442	渡部 喜政	東　北	秋　田	144
4760	島影 教子	東　京	—	144
2042	木村 泰博	北関東	新　潟	142
4804	陳　木梓	台湾特別	台　湾	142
4905	陳　益世	台湾特別	台　湾	138
4994	一瀬 良之	南関東	山　梨	133
2421	大内 正雄	九　州	福　岡	132
4984	萩原　玄	埼　玉	—	131
2358	佐藤 光子	東　北	山　形	120
2041	渡辺 良男	北関東	新　潟	114
5276	竹岡 栄徳	近　畿	大　阪	112
2719	林　久雄	千　葉	—	108
5179	北原 雅人	近　畿	大　阪	107
1340	髙橋 幸雄	南関東	神奈川	101
4412	東原　實	四　国	香　川	101
4997	松永 桂子	南関東	山　梨	96
3176	桒山 一宏	北関東	新　潟	94
4869	臼倉 恵美子	埼　玉	—	94
4013	豊田 賢治	埼　玉	—	93
1150	出村 忠廣	南関東	神奈川	93
2323	藤原 義博	九　州	大　分	93
4269	齋藤 誠一郎	東　京	—	92
5117	陳　俊硯	台湾特別	台　湾	92
1210	山内 輝光	九　州	福　岡	91
4018	松尾　實	東　京	—	90
3693	鳥越 國男	中　国	広　島	89
5116	荘　翔斌	台湾特別	台　湾	89
834	髙橋 栄一	南関東	神奈川	83
3249	松永 準一	中　部	愛　知	83
1868	石黒 不二夫	南関東	神奈川	81
4054	神﨑　進	九　州	福　岡	80
1112	森川　昇	北関東	栃　木	79
911	鈴木 祥浩	近　畿	大　阪	78
5002	津田　嵩	南関東	神奈川	77
4733	廣瀬 典仁	南関東	山　梨	77
2306	山本 正樹	中　国	岡　山	76
2367	茂木 達男	東　北	山　形	75
4348	藤本 賢司	中　国	山　口	75
4705	岩井 美喜夫	四　国	香　川	75
5221	蔡　有義	台湾特別	台　湾	75
2452	鶴岡 義明	千　葉	—	73
4703	佐藤 昌次郎	近　畿	兵　庫	72
1121	中野 澄雄	中　国	広　島	71
3355	植木 和宏	四　国	高　知	68
3894	田中　實	東　京	—	65
5199	三品 富義	中　部	愛　知	65
4784	土橋 留美子	東　京	—	64
5278	宇和野 敦子	近　畿	兵　庫	63
4945	江尻 敏彰	中　国	岡　山	61
2256	小林 敏雄	埼　玉	—	59
3116	伊藤 彰彦	南関東	静　岡	57
3966	庄司 芳昭	東　北	宮　城	56
4624	臼井 邦夫	北関東	栃　木	56
2311	高田 英二	四　国	愛　媛	55
4311	高村 一文	北海道	札　幌	54
2929	山本 英夫	南関東	静　岡	54
3254	伊藤 三男	中　部	愛　知	53
4908	橋本 琢磨	北関東	茨　城	51
3872	加藤 健二	中　部	愛　知	51

（敬称略）　（令和２年３月31日現在）

事業部・委員会活動

「環境経営士養成講座」を初めてZoomで実施

CSR環境事業部

CSR環境事業部　福井　浩

第58回環境経営士養成講座をEラーニング(Zoom)（5月開催)を介して実施しました。

通常は日本経営士会の本部研修室で行う予定でしたが新型コロナの影響で研修室が使えなくなり、急遽Zoomで行いました。

この講座は環境教育推進法に決められている「環境人材育成講座」として、環境省、経済産業省、農林水産省、国土交通省、文部科学省の認定講座です。また昨年より株式会社オルタナと当会と環境関係の連携をし、オルタナの推薦講座でもあります。

経営士の方へ　専門に「SDGs・CSR・環境経営」を加えてみませんか！

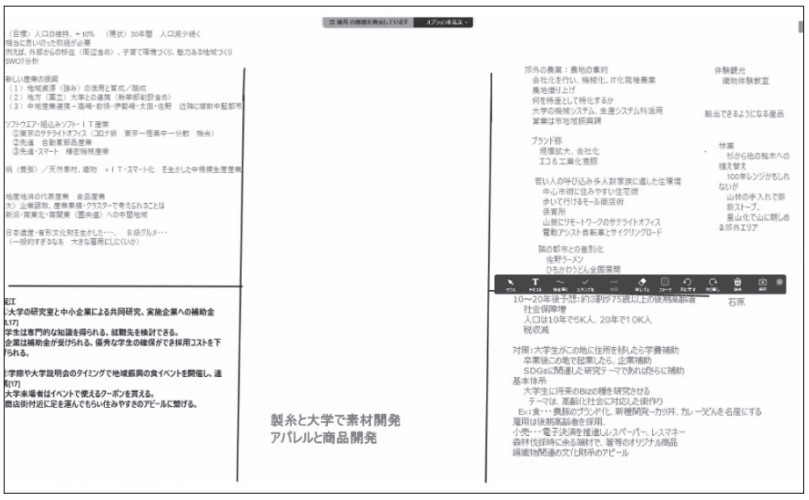
環境経営士養成講座はベーシックコース(BC)が1日、アドバンストコース(AC)が2日で開催されます。最近のカリキュラムにはSDGsについても挿入されています。

第59回開催(7月度開催)もZoomでの開催予定です。本部のホームページなどをご参照され経営士の方も環境経営士になりSDGs・CSR・環境経営の普及をお願いいたします。

今回のZoomでの開催結果は

今回の講座受講者はBCが3名、ACが5名でした。

主催者としてZoom講座はまだまだ改善するところはあります。例えばBC、ACともワークショップを90分程度おりこんでいます。Zoomにはホワイトボードの機能がありますがワークショップ時受講者の考えを書き込みまとめる方法を改善する必要があると感じました。



図はワークショップをZoomのホワイトボードにて実施(字が小さくて読めませんが、中の空白にはまとめを書く予定で空白にしてあり、途中経過です)

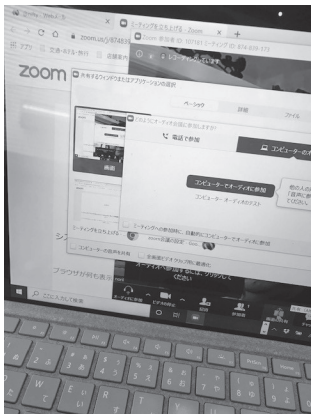
しかし受講者にアンケートを書いていただいておりますが、この講座はよかったと評価をいただきました。

環境経営士養成講座(Zoom開催)は各支部でもご検討を

環境経営士養成講座は通常は研修室で行っていましたが、これからはEラーニングで行うことも選択肢の一つとなるかと思います。昨年5月の理事会でも環境経営士養成講座をEラーニングでの実施について了承を得ています。各支部に於かれましてもEラーニングにチャレンジされたらいかがでしょうか。

NJKだより

令和1年度最後の役員会が3月28日に開催されました。本来ならば、オープンに運営報告会とするところ、コロナウイルス感染拡大という未曾有の状態に役員会のみZOOMリモート会議方式で行い、午後に予定していましたセミナーは7月7日に延期としました。



＜新年度役員＞は以下の通りです。

令和2年度(2020)　＜新役員＞　（敬称略）

人材育成事業部：近藤安弘

会　　長：島影教子　　副 会 長：土橋るみこ

理　　事：松橋裕子　吉村千鶴子

会　　計：松永桂子

事業監査：児玉充晴　　会計監査：臼倉恵美子

＊内規では2年毎の改選だが今年度は役員相互の事情を鑑み1年間限定とした。

＊6月の社員総会に合わせて変更が予定される。

＊地方支部との連携を視野に地方会員の登用も考慮している。

＜新年度、年間計画予定＞は以下の通りです。

7 月 7 日	「SDGs とは何か」 ～私たちにできることジェンダー平等で参画～　Zoom リモート開催
8 月	女性リーダーによる MPP　支部コラボ　Zoom でリモート開催予定
10 月	東京ウィメンズプラザフォーマル　参加未定
12 月	支部コラボ企画　未定

＊新年度の活動はすべてコロナウイルスなどの情勢判断とします。

「継続は力なり」10年目を迎えたNJKへのご協力、ご支援を引き続きお願いいたします。

研究会通信動

新型コロナウイルスで露呈した日本のものづくり【製造業の苦悩と試練をどう乗り越えるか】

生産研究会

生産研究会　山本　忠

新型コロナウイルスの感染拡大が製造業にも大きな影響を与え、未曽有の試練に直面している。現在、緊急事態宣言が解除され、緩やかに暮らしや経済の回復に向けた対応が進められているが、企業も見えない収束、長期戦をどう戦うか事業存続に向け懸命に取り組んでいる。

1. 新型コロナウイルスで露呈した製造業の現況・課題：

①急激な需要減による生産調整（生産停止、中止、生産ラインの変更等）
②揺らぐ雇用（従業員の一時帰休、解雇、新規募集の停止、従業員のシフト）
③サプライチェーン（部品供給網）の寸断
④中国依存の物品調達による混乱
　・部品調達の混乱と国内生産の停滞発生
　・在宅生活・勤務の広がりでパソコン、タブレット等の需給が逼迫
⑤企業の感染対策強化［勤務シフト、検温、生産ラインの配置等］
⑥デジタル技術の活用遅れ
⑦異業種による医療機器、マスク、防護服、消毒剤等の生産
⑧生産のグローバル化戦略の見直し（中国依存、地産地消戦略）
⑨企業の BCP の見直し、設定（ウイルス対応の BCP）

2. 倒産・廃業の増加が予想される新型コロナ苦境の中小企業：

製造業の中小企業を取り巻く環境は、厳しい状況であったが、更に新型コロナの影響で加速度的に倒産・廃業の増加が予想される。

コロナ失職2万933人［累計：・宿泊業4348人・飲食業3484人・**製造業2813人**
（厚生労働省6月9日公表）］

需要減が町工場を直撃 ➡ **悲鳴をあげる製造現場**

①大手メーカからの受注が底をつき生産の縮小／停止
②雇用をどう守るか(自宅待機、解雇、募集の停止等)
③販売減で資金繰りが苦しく、最大の努力に必死
④**半年以内の仕入れや給与などの決済が心配：75%**
（参考：東京商工リサーチの中小製造業アンケート1915社回答より）

自治体や金融機関に融資の希望が殺到

対応　**運転資金の支援に加え、技術や人材を継承・集約する施策・対応が重要となる**

3. どう乗り越える日本の製造業

大手製造業は何とか踏ん張っているが、6月以降の需要に対して、見通しが立たない状況である。日本の基幹産業で産業分野の裾野が広い自動車産業でも国内、海外ともに需要が低迷し、新型コロナウイルスの影響が深刻化している。マスコミの報道も政府の支援も、飲食業やサービス業が話題になっているが、製造業の基盤強化こそが重要で、製造業の経営悪化は日本経済の屋台骨を揺るがすことになり、復興への時間が長期化することが考えられる。中国は急速に製造業の立て直しに力を入れている。

製造業の優先課題とリスク対応

①中国依存のサプライチェーン(供給網)の見直しと対応

生産の国内回帰と供給網の多元化を推進

・付加価値の高い製品は日本で生産、汎用品はASEAN各国へ分散

・下請が生産する部品の共通化と日本を含む複数の地域で生産しリスクを回避(自動車産業)

・部品の入手困難とその影響を分析し、必要箇所に投資

日本政府は、緊急経済対策で**生産拠点の国内回帰**やASEAN**諸国への多元化**を打ち出し、**2020年度補正予算に2,486億円**を盛り込んだ

・中小企業：費用の3分の2補助　・大企業：費用の2分の1補助

②事業収益悪化による財務体質強化：事業融資活用、キャッシュフロー強化

③需要減による雇用調整：自宅待機、解雇、人員のシフト、新規募集停止

④デジタルファブリケーションの活用

⑤グローバル戦略見直し：海外生産の見直し、国内生産への回帰

⑥医療装備品・機器、素材、部品の開発生産(異業種の生産)

⑦工場の感染対策強化：生産ラインの配置、勤務シフト、検温実施等

⑧コロナウイルス対応のBCP設定

第9回生産研究会開催(オンライン会議)のご案内

1. 日　時：7月29日（水）　午後6時～8時40分

2. プログラム：①開発／生産関連のトピックス

②防衛宇宙ビジネスの現状と将来について

3. 申込み：事務局　山本　忠［☎080-6757-1131］

［E-mail：yama-chu19-fukuei@swan.ocn.ne.jp］

＊お願い：企業経営や生産システム、開発・生産にかかる皆様のご意見をお寄せ願います。
また日刊工業新聞の「経営士の提言」に投稿を宜しくお願い致します。

会員の輪

事業承継問題と財務体質の強化

南関東支部(静岡)　徳浪 万里

■「中小、休廃業・解散5万件　既に経営者の高齢化や人材不足で事業承継問題が深刻化している中、新型コロナウィルスが高齢経営者の事業継続断念の決意を後押しすることになり、2020年の休廃業と解散は2019年比15%増の5万件に膨らむと推計される」新型コロナウィルスの脅威が収まらない中、5月31日付の日本経済新聞の記事は改めて事業承継への早急な対応の必要性を再認識させられるものでした。

■事業承継問題解決への障壁は様々ありますが、事業承継問題の中で、後継者が財務内容の課題(借入過大、資本不足による不安定な事業基盤)が承継に慎重にならざるを得ないという面もあります。

中小零細企業の自己資本不足という課題は、新型コロナウィルス以前からのものですが、事業承継問題解決の具体的な対応の一つとして今後、目を向けるべき点であると言えるのではないでしょうか。

コロナショック対策として融資制度の充実が図られ、多くの中小零細企業が融資申し込みを行っています。

融資制度の活用により資金繰り対策とはなりますが、コロナショックにより傷んだバランスシートの修復と共に、自己資本の充実対策を取らなければならないと考えます。

幸い、今回のコロナショックにより漸く、中小企業にも劣後債(資本性ローン)等による資本注入の仕組みが生まれてきています。

日本政策金融公庫においては従来から劣後ローンはありましたが、使い勝手が必ずしも良いとは言えず(私見ですが)、経営者も通常の借入での対応で満足し、金融機関側も一部を除き自己資本の充実というところまでは踏み込んだ対応は取ろうとはして来ませんでした。

今回、コロナショックによる経営支援制度の充実と中小企業支援という大義名分ができたことから金融機関側も比較的、中小企業の自己資本充実という課題に取り組みやすい環境が整ってきたのではないでしょうか。

■話は脱線しますが、私の名前は万里と書いて“マサト”と読みます。

祖父が、長生きしてほしいとの思いを込めて中国の万里の長城からとった名前だと聞かされています。

万里の長城は秦の始皇帝が作ったといわれてきましたが、始皇帝以前に長城は各地に点在していたようで、始皇帝がこれらをつないで、かの有名な万里の長城になったとか。

こじつけ気味ですが、これから経営士として、人(経営者)と人(金融機関、顧問税理士等)とをつなぐことをベースとして中小零細企業の経営者の皆様の力になることを目指していきたいと考えています。会員諸先輩方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

■次回号は、南関東支部(神奈川)文 美子 会員に寄稿をお願いします。

会員広場

「日々是好日」

中国支部(広島)　豊政　茂

経営士の皆さん、こんにちは。中国支部(広島)の豊政茂です。この度「マネジメント　コンサルタント7・8月号」への執筆依頼を戴き「喜んで〜」とお受けしました。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、いま皆さんの関心事は何でしょうか。私は何といってもコロナ危機です。第2は本音の働き方改革について。第3は終身(生涯)現役〜どうするの！です。それでは勝手ながら以上3項目で書き進めたいと思います。

先ずはコロナで何が変わったのか！です。私自身を顧みて2015年に個業家として独立後、最近まであれだけ動き回っていた自分が、今は終日自宅に居て仕事をしていることに驚きを隠せません。当にビフォーコロナの時は外に出る事が仕事だったのが、そうではなくなった事です。恐らく大部分の経営士の先生方も同様ではないでしょうか。それではここでポイント！「ZOOMしてますか？スカイプは、メッセンジャーは？」。導入が進んでいなかったテレワークが、いや応なしに求められています。リアルに戻るにはまだ時間が掛かるでしょう。働き方がガラッと変わる「時」が来たようです。

第2は働き方改革です。週間ダイヤモンド(4/19)にショッキングな記事がありました。テレワークが導く「新型リストラ。隠れ『働かないオジサン』がテレワークで強制的にあぶり出される」です。デジタルワークになじめない、デジタル音痴のオジサン社員が在宅勤務で仕事ぶりはバレバレ、スケスケとあぶり出されて行くようです。そして給与も激減「残業代ゼロ時代」に。残業時間の上限規制はご存知の通りです。となると求められるのは仕事の成果です。結果が全ての時代で効率良く働いて成果物をシビアに評価することが求められ、今まで以上に人事評価制度の重要性が高まります。多くの中小企業でも見直しが進みます。私たち経営士が求められることは、持続的な成長支援ではないでしょうか。

第3は「人生100年時代」を迎える今、マルチステージで輝く為に終身現役を全うする為に成長意欲を高く持って常にハングリーでなければならない事でしょう。具体的には「学び直し」です。別団体ですが連合会の推薦を戴き、明治大学大学院経営学研究科での学びの機会を得ました。現在、修士2年生で学生をやっています。昨年は「青い翼」で広島から毎週東京まで通いました。厳しく苦しい面もありますが、若い世代や外国人と共に学ぶ楽しさも味わう日々です。

今後、コロナ第2波が恐らくやってきます。世界中の経済が落込む中、日本の中小企業420万社の経営者に寄添い少しでもストレスフリーな経営が進むよう、ビジネスと人生が豊かになるよう全力で支援していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

(昨年の京都全国研究会での笑顔一杯の
本城先生、藤本先生、青木会長と私)

(アメリカより来日した、友人のBethさんと
明治大学アカデミーコモンにて)

支部活動報告

南関東支部活動報告

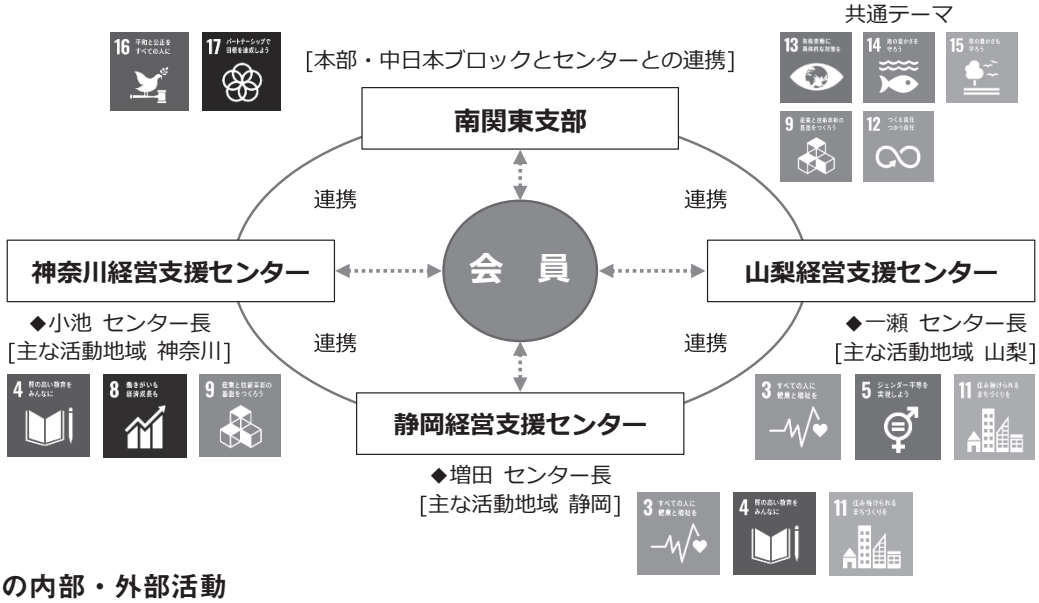
南関東支部

今、世界中では新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、グローバル経済社会に深刻な状況で、多くの人に影響がでております。そんな中「社会的距離(ソーシャル ディスタンス)」と「家に居よう(ステイホーム)」をとるなど感染予防に努めその結果として、再開へ向けて少しずつ始動しつつあります。このような社会環境下での新体制ならびに新年度スタートとなり、会員の皆さんと一丸となり推し進めることが重要だと考えております。以下に本支部の新体制を報告させていただきます。

1. 支部概念(方針)

今後、本支部においても持続可能な組織として内部・外部において社会のなかで果たすべき役割は何か、また、地域・社会に提供する価値は何か、その価値は受手側にとってどのようなベネフィットをもたらしたいのかを模索しながら下図に示すよう連携・協働し事業活動を推し進めることとします。

“グッド・コミュニケーション”



2. 支部の内部・外部活動

本支部におきましては、3つのセンターを中核として、センターの特徴を活かした地域の小規模・中小企業に則した対応と地方自治体および団体などの連携を推し進めるためにも、支部内共通課題の業務(規程類整備)効率化、IT化なども検討します。

また、各センター、本部・中日本ブロックおよび外部機関との連携・協働を強化し、社会変化に伴う敏速な対応および支部会員の皆さんとの密にコミュニケーションを図り、推し進めることとします。

3. 3つのセンターを中核とした活動概要

◇神奈川経営支援センター

・センター支援の仕組み構築し、会員相互の情報交流・新たな共助・共創づくり、SDGsに関する事業活動および経営士養成講座運営の支援、経営士補養成講座の開発など

◇静岡経営支援センター

・浜松市、静岡市がSDGs未来都市に認定されことに対して活動・支援などの模索

◇山梨経営支援センター

・組織活動の強化と運、各自の経営コンサル能力の強化に向けた取り組みおよび収益性のある事業の確保に向けた取り組みなど

■次回号以降は、各センター(山梨→静岡→神奈川)より報告させていただきます。

(南関東支部:本田 哲行)

支部活動報告

中部支部活動

中部支部

●ICT研究会

日　時：5月10日（日）10:00～11:00
場　所：ZOOMによるオンライン参加
テーマ：ZOOMの使い方
講　師：三品富義
参加者：梅本泰則、加藤健二、松永準一、吉田文武、近藤守邦、多賀吉令、今枝健治、安齋眞行、江口敬一、若村正志、鈴木浩吉、竹内隆二、日比野徳昭、遠藤欣秀、石川隆幸、赤井研介　（順不同、計17名）

新型コロナの影響で、初めてZOOMによるICT研究会を実施した。経営士、経営士補、環境経営士、合計で17名がZOOMに参集。まずは各人より近況報告をいただいた、そして三品より「ZOOMの使い方」についてパワーポイントを画面共有し、ZOOMの準備、ソフトの特徴、機能、ウエブセミナーのメリット・デメリットの解説があった。中部支部の今後の活用について、遠距離の方が参加し易くなるメッリトを活かし、月1回位は実施することとする。

●5月幹事会

日　時：5月24日（日）10:00～12:00
場　所：ZOOMによるオンライン参加
内　容：中部支部事業報告会及び事業計画予定
参加者：梅本泰則、加藤健二、三品富義、松永準一、近藤則康、多賀吉令、宮田伸一、江口敬一、今枝健治、古舘孝明　（順不同、計10名）

毎年行われてきました中部支部報告会を新型コロナの影響の為、ZOOMオンラインにより中部支部幹事会にて実施。梅本支部長より事前に配布された令和元年度中部支部事業報告書にて説明があり、収支決算報告を含め参加者全員により承認された。また令和2年度中部支部事業計画並びに予算案が説明され参加者全員により承認された。

中部支部の活動は今期も研究会がメインとなるが、エコステージ事業も先細りとならぬようにすること、支部のHPのコンテンツもまだ不十分なのでその見直し、セミナー事業（オープンセミナーの実施）などで収益を上げることで、経営士会のブランディングと会員数増大に尽力していく必要がある。（梅本支部長より）

今期の主な事業計画

(1)「メッセナゴヤ2020」異業種交流会の出展
(2)経営士補、環境経営士養成講座実施
(3)環境経営士フォローアップセミナー実施
(4)支部研究会の開催
(5)エコステージ事業の推進
(6)北陸地区の経営支援センターの活動
(7)その他セミナー開催（リアルとオンライン）、eラーニングも検討。

（記：三品　富義）

2020年度上期開催行事・講座のご案内

行事･研修･セミナー	日　時	開催場所	詳　細	申込方法など
女性経営士の会NJK	7月7日(火) 13:30～16:30	日本経営士会 会議室､Eラーニング (Zoomにて)	募集人員：40名 (Zoom30名、対面10名) 受 講 料：2,000円(税込)	事務局に問い合わせ下さい。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	7月11日(土) 10:00～17:30	Eラーニング (Zoomにて)	募集人員：10名 受 講 料：13,000円(税込)	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
第3回定例理事会	7月17日(金) 13:30～16:30	日本経営士会 本部会議室	――	――
環境経営士養成講座 アドバンストコース	7月18日(土)・19(日) 2日間 10:00～17:30	Eラーニング (Zoomにて)	募集人員：10名 受 講 料：25,000円(税込)	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	9月12日(土) 10:00～17:30	Eラーニング (Zoom)にて予定	募集人員：10名 受 講 料：13,000円(税込)	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	9月19日(土)・20(日) 2日間 10:00～17:30	Eラーニング (Zoom)にて予定	募集人員：10名 受 講 料：25,000円(税込)	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
第106回経営士試験	11月1日(日)	日本経営士会 本部会議室他	受 講 料：10,000円(税込)	当会HPをご覧下さい。
第4回定例理事会	12月4日(金) 13:00～14:30	日本経営士会 本部会議室	――	――
第2回理事・支部長会	12月4日(金) 15:00～17:00	日本経営士会 本部会議室	――	――

■『e-ラーニング講座』を3月よりスタートしています。講座を受講され、スキルアップにご活用下さい。
詳細はホームページをご覧いただくか、又は本部事務局にお問い合わせ下さい。
■2020年6月末現在のご案内です。状況により中止、変更等が生じる場合があります。

支部活動予定

【北関東支部】
(茨城県会)
＊茨城県会公開MPP
7月25日(土)13：30 ～ 16：30
＊茨城県会公開MPP
9月26日(土)13：30 ～ 16：30
＊茨城県会月例研究会
(経営士の提言、MPPケース作成、その他)
10月17日(土)13：30 ～ 16：30
＊茨城県会月例研究会
(経営士の提言、MPPケース作成、その他)
12月19日(土)13：30 ～ 16：30
(会場は毎回 ひたちなか商工会議所)

【TAMAマネジメント研究会】
7月25日(土)14：00 ～ 17：00
8月22日(土)14：00 ～ 17：00
9月26日(土)14：00 ～ 17：00
(会場は毎回 三多摩労働会館)

【中部支部】
＊MPP研究会
7月26日(日)13：30 ～ 16：30
会場：名古屋市教育館
＊支部幹事会
8月(日時調整中)
場所：ZOOMオンライン
＊経営研究会
8月23日(日)13：30 ～ 15：30
会場：名古屋市教育館
＊「メッセナゴヤ2020」研究会
9月20日(日)13：30 ～ 15：30
会場：名古屋市教育館

広告／インフォメーション

熱中症対策にスポーツドリンクキャンディ・塩あめはいかがでしょう？ PR

◆1ケース（1kg約235粒×10袋）から配送可能。
10ケースから送料無料です。
◆この広告を見た！とお知らせください。**卸価格**にて販売させて頂きます。
◆従業員・パートさんの福利厚生として是非ご利用ください。
◆経営士の方々のコンサルティングツールとしてもご利用可能です。

スポーツドリンクキャンディと塩あめの二種類がございます。業務用サイズなのでお買い得です！（100人規模の会社様では1日で1kg程度消費するケースが多いようです。）賞味期限は製造日より約12か月。

お問合せはお気軽にどうぞ。お待ちしております。

【弊社事業】
①菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
②菓子専門商社業
③週一回からのパートタイム経理部長サービス
（月次決算早期化、資金繰り表見える化　等）

【お問合せ先】
株式会社バーニングスピリッツ
代表取締役　堺　剛
携帯電話：090-2733-0185
メール：tsakai@burningspirits2017.com

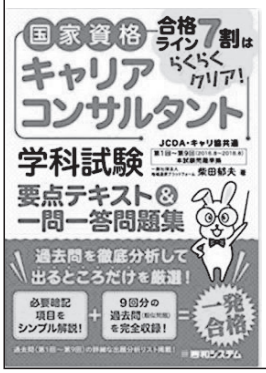
経営士とのダブル・ライセンスで仕事幅拡大
国家資格キャリアコンサルタント
に挑戦！ は、いまがチャンス！

国が力を入れコンサルタントと名乗れる名称独占資格。従業員のやる気が高まり企業業績アップ。質問力、ファシリテーション力、カウンセリング（コーチング）スキルが身につく、生涯現役職種。

PR

受験資格が得られ、すぐに国家資格者になれる
【厚生労働大臣認定・キャリアコンサルタント養成講習】
http://careerjp.work/cc1/

【経営士向け → 3大特典】
●**受講料が最も廉価**：他校よりも数万円安く、入学金も免除。さらに消費税分値引。
●**合格サポート制度**：**「受験対策講座」が合格まで何度でも無料に！**：**通常1日2万円（他校も同様）の対策講座を何度受けても無料に！**
●**貴重な過去問題集＆回答を無料贈呈**：通常入手できない当校オリジナル版。



説明会随時開催！

一般社団法人
地域連携プラットフォーム
TEL：048-476-4600
FAX：048-476-4607
E-mail：info@careerjp.work
〒353-0006
埼玉県志木市館2-5-2鹿島ビル4階
代表理事　**柴田郁夫（経営士4756）**
国家資格キャリアコンサルタント
国家検定1級キャリアコンサルティング技能士
国家検定2級キャリアコンサルティング技能士

《お知らせ》

従来使用していました日本経営士会のホームページURL（http://keieishikai.com）は6月末で契約終了となり、7月より下記のURLに変更になります。
新しいURLのご使用をお願い致します。

新URL　https://nihonkeieishikai.com

《お知らせ》

オフィスと事務局員のメールアドレスが下記の通り変更になりました。
ご連絡は、新メールアドレスにお願い致します。

オフィス	office@nihonkeieishikai.com	原田 みどり	harada@nihonkeieishikai.com
竹下 克美	takeshita@nihonkeieishikai.com	田中 洋子	tanaka@nihonkeieishikai.com

《お知らせ》

本部事務局が入館しています、B.D.A.二番町ビルのエレベーター更新工事により、8月1日より9月15日まで（予定）館内のエレベーターが使用できません。
その為、工事期間に、事務局又は会議室にお越しの際は非常階段にて5階まで昇降をお願いします。研修会、委員会等で会議室を使用の場合などあらかじめご承知おき下さい。

訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。会務に多大のご尽力をされました。
＊髙﨑 尚樹会員（東京支部　NO.5387）　令和2年6月15日没（享年59歳）

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management